



昨年の県民スポーツ大会は、加茂圏域の開催ということでしたが、適地がなく関市の中池公園で開催をしました。今年の中濃圏域ということで、同じ関市の百年公園で岐阜県博物館を会場に開催することとしました。百年公園では、つい最近も中日東海大会を開催しています。それ以前にも全日本リレー大会をはじめGOLA大会など開催し、その都度、地図修正を行ってきました。現在もパーマネントコースが設置されており、指定管理者も代わったことで、

オリエンテーリングに対して積極的に関わろうとしてくださいました。博物館への連絡や調整にも骨を折って頂きましたし、大会のPRにも前向きに取り組んで頂きました。

県民スポーツ大会でのオリエンテーリングは、広く県民を対象としており、初心者から経験者までと一緒に競技できるように従来から1時間のスコアオリエンテーリングを行ってきています。各圏域で行ってきているということで、幅広い年齢層の方やオリエンテーリングが行われていない地区の方にも参加していただいています。

今回も幼稚園児からシニアの方まで、また、トレラン経験者や海外の方まで参加していただき、参加者数は67人となりました。昨年の大会は地図を新規に作成したにも関わらず、30人の参加者しかなく、大会PRに積極的に取り組む必要があるのではないかという反省が出されました。そのため、今回は、5月から大会要項を専門業者に発注し、様々な機会や場所に提供・配布してきました。トレインは、ご存知のようにアップダウンがあり、当日の蒸し暑さも加わって初心者にも経験者にもハードなものとなりました。制限時間の1時間内に全てのコントロール25個を回って来られたのは、成績トップの方のみでした。フィニッシュ後は、優勝者にルート図を大きな地図に描き込んでもらったものを



を掲示し、初心者の方にも見てもらいましたが、大変好評でした。スコアオリエンテーリングの運営については、何回か経験を積んできましたが、月末の全国レクに向けて、フィニッシュと計算処理に不安が残るものとなり、対応策を検討することとなりました。

今後も、県民スポーツ大会は、このスタイルで実施する見通しであり、スタッフ不足や高齢化への対応など継続して実施できる体制を検討していく必要があると感じました。(牧ヶ野)

